

2005 年 2 月 7 日

シンガポールにおけるポリプロピレン生産設備の増強について

住友化学の連結子会社でシンガポールに本社を置く The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd (以下、「TPC」)はこのたび、同社の直鎖状低密度ポリエチレン (以下、「LLDPE」) 製造プラントを、ポリプロピレン製造プラントに転換することを決定いたしました。新プラントの生産能力は 20 万トンで 2006 年第 3 四半期中に改造工事を完了する予定です。この結果、TPC のポリプロピレン生産能力の合計は 65 万トン／年に増加いたします。

住友化学グループは、ポリオレフィン事業を石油化学部門の重点ビジネスと位置付け、コスト削減、安価原料の調達、製品の高機能化などを通じ、一層の事業基盤強化に取り組んでいます。その一環として、TPC では製品構成を汎用品から高付加価値品へシフトすることを積極的に推進してまいりました。LLDPE は主としてフィルムなどに使用される汎用の合成樹脂で、安価な原料を使用し高いコスト競争力を持つ中東地域の製品との競争が厳しい状況にあります。一方、ポリプロピレンはより高付加価値な製品で、特に中国市場等で自動車、家電用途などに今後も大きな成長が期待されています。この計画の実施によりポリプロピレンの生産能力を大幅に拡大することで、TPC における高い収益成長を実現してまいります。

新プラントには、現在運転中の LLDPE プラントと同様に住友化学の気相法技術を採用するため、改造費用を最小限に抑えるとともに安定した高品質の製品の生産が可能です。

なお、今回の転換に伴い新たに必要となる原料のプロピレンの調達については、住友化学の関連会社であり、TPC とともにシンガポール石油化学コンプレックスを構成する Petrochemical Corporation of Singapore Pte. Ltd (以下、「PCS」) で同時期に新設するメタセシス法※を採用したプロピレン製造プラント (プロピレン生産能力 : 20 万トン／年) から供給を受ける予定です。

※メタセシス法 : エチレンと C⁴留分からプロピレンを製造するプロセス

以上

(ご参考)

TPC 概要

社名： The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd.

社長： 石川 浩通 (住友化学 出身)

出資比率：日本シンガポールポリオレフィン (株) 70%

(同社への住友化学の出資比率は 95.71%)

Shell Eastern Petroleum Pte. Ltd. 30%

資本金： 51,689 千 US ドル

設立： 1980 年 5 月

事業内容：ポリオレフィン樹脂 (ポリエチレン・ポリプロピレンなど) の製造・販売

従業員数：323 人

PCS 概要

社名： Petrochemical Corporation of Singapore (Pte.) Ltd.

社長： 田島 玄 (住友化学 出身)

出資： 日本シンガポール石油化学 (株) 50%

(同社への住友化学の出資比率は 54.66%)

Shell Eastern Petroleum Pte. Ltd. 50%

資本金： 161,546 千 US ドル

設立： 1977 年 8 月

事業内容：石油化学製品 (エチレン・プロピレン・ベンゼンなど) の製造・販売

従業員数：346 人